

令和4年度シラバス

診療放射線科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態		担当教員名	
放射線安全管理学実習		実習		田中 悟・山口砂織・松本 貴 野沢井隆	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
45 時間 （ 1 単位）		23 回		3 年次	前期
授業の目的・概要					
放射線測定装置の操作法を理解し、放射線安全管理に関する知識を習得する。実習を通して放射線安全管理学に関する知識を習得する。実験A サーバイメータ（電離箱，GM管，シンチレーション）のエネルギー依存性 実験B ペルチェ冷却式霧箱による α 、 β 、 γ 線の観察 実験C X線CT装置でのCTDIを用いた線量測定 実験D 熱ルミネセンス線量計の特性					
授業の到達目標					
実験から得た測定値の整理、評価、考察方法について学び、実験報告書を記述する。放射線測定器の使用方法を習得することにより、診療放射線技師として放射線安全管理の必要性が説明できる。					
授業計画					
回	内容		回	内容	
1	実習ガイダンス		16	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
2	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		17	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
3	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		18	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
4	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		19	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
5	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		20	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
6	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		21	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
7	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		22	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
8	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成		23	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成	
9	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
10	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
11	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
12	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
13	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
14	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
15	実験A・実験B・実験C・実験D・レポート準備と作成				
成績の評価法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験					
レポート	80%	レポート内容を評価する。			
小テスト					
平常点	20%	実習態度			
その他		正当な理由なくレポートの提出がない場合には不可とするので注意すること。			
自由記載		各項目後に課したレポートを受講態度を加味して評価する。			
教科書					
書名	著者・編集者名		出版社名		
新・医用放射線技術実験 基礎編	田中仁 他		共立出版		
新・医用放射線技術実験 臨床編	安部真治 他		共立出版		
アイソトープ手帳 11版	日本アイソトープ協会		丸善		
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名		出版社名		
自由記載					
備考					
実験説明は教室にて行うが、実験では各班に分かれて各実験室で実施する。					